

ホームランニュース

<http://www.funabashi-gakudou-baseball.jp>

発行 船橋市野球協会少年学童部



第三四回船橋市春季市民大会 少年学童の部

今年度は昨年の東日本大震災の影響で中止となった総合開会式が、三月二十五日に船橋市民球場で二年ぶりに開催された。今回も液状化の改修工事のため高瀬グラウンドの使用が出来なかつたため豊富球場をメインに行われた。土曜日も大会を行うなどし、ほぼ予定通り日程を消化することができたので両リーグの決勝戦が五月四日船橋市民球場で行われた。

Aリーグ 高郷スターズ 初優勝

Aリーグは、西船ウイングス、シードの習志野台ワンパクス、高郷スターズ、ツインドルフィインズの四強の争いとなり、準決勝で、習志野台ワンパクスが西船ウイングスを四対一で破り、また、高郷スターズがツインドルフィインズを六対五で破り、五月四日に船橋市民球場で決勝戦が行われた。

習志野台ワンパクス

0002000 2
0200000 x 3

高郷スターズ

試合は二回高郷は二、三塁のチャンスに松井、長部の連続タイムリーで二点を先取。対する習志野台は四回、北村の中前安打でチャンスを広げ、二点を返し同点とした。その後は両チームともにランナーを出すものの、あと一本がでない。最終回、習志野台は三塁に走者を進め、本塁を狙うが無得点。その裏、高郷は二死三塁から、二番田中の左安打で、サヨナラ勝ちし初優勝を飾った。



Bリーグは ワンパクスが 優勝

Bリーグは、習志野台ワンパクス、薬台台リトルスター、法典コンドル、西船ウイングスの四強の争いとなり、準決勝で習志野台ワンパクスが薬台台リトルスターを二対〇で破り、また、西船ウイングスが法典コンドルを四対二で破り、習志野台ワンパクス対西船ウイングスの決勝戦となった。

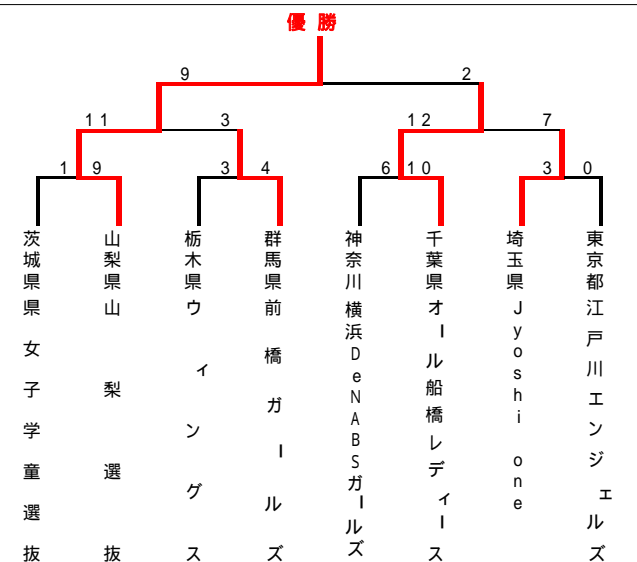
2020011 6
0120101 5

西船ウイングス

試合は、初回から二得点を奪い習志野台が主導権をにぎった。三点を追う西船は三回、木下の左二塁打で二点を返し、流れを引き戻す。すると五回、四番・西口の左中間タイムリーでついに同点に追いついた。しかし習志野台はすぐさま反撃。続く六回、一点を奪つと、七回にも北村の三塁打から加点し接戦を制し五年振り三回目の優勝となった。

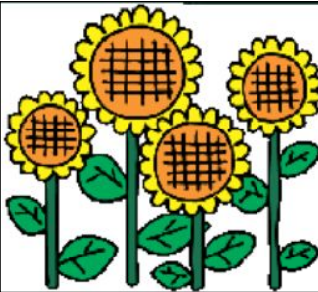
Aリーグ優勝した高郷スターズは五月に全日本

NPBCUP第6回 関東女子交流大会



学童千葉県予選に、そして、習志野台ワンパクスが七月に関東学童千葉県大会に出場した。また、高郷スターズ他三チームが八月に行われる千葉県少年野球大会(千葉日報杯)へ出場した。

Bリーグで優勝した習志野台ワンパクスは九月に開催される関東学童軟式野球秋季(新人)大会千葉県予選に、また、薬台台リトルスター、法典コンドル、西船ウイングスと習志野台ワンパクスに準々決勝で敗れた夏見パワーズの四チームが十月開催の東武鉄道杯への出場が決まった。



船橋警察署長杯

Aリーグは南部支部が二十六連覇

二六回船橋警察署は五月五日に、Aリーグ十六チーム、Bリーグ十四チームの参加により開会式が行われた。

船橋警察署長の始球式により初戦が開始され、好天にも恵まれ、順調に進み六月十日に夏見台近隣公園グラウンドで決勝戦が行われた。

Aリーグは、小栗原ベアーズ、夏見パワーズ、西船ウイングス、夏見台アタックスの四強の争いとなり、準決勝で、夏見パワーズが小栗原ベアーズを十一対六で破り、夏見台アタックスが西船ウイングスを五対二で破り、南部同士の決勝戦となった。

夏見パワーズ 0 0 1 0 0 1
5 5 1 3 x 1 4
夏見台アタックス
となり、夏見台アタックスが二年ぶり十二回目の優勝を飾った。

BリーグはFTJ初優勝

Bリーグは、夏見パワーズ、夏見台アタックス、FTJ、海神スパローズの四強の争いとなり、準決勝で、夏見台アタックスが夏見パワーズを六対三で破り、FTJが海神スパローズを七対一で破り、Bリーグも南部同士の決勝戦となった。

試合は壮絶な打ち合いとなったが、十二対十と激戦を制したFTJが初優勝を飾った。

船橋東警察署長杯

第二七回船橋東警察署長杯は、五月五日のこども日に豊富グラウンドにて

開会式を行い、開会式後の第一試合は東警察署長の始球式で始まった。

大会は、天候に恵まれ準々決勝まで順調にすすみ、ベスト四には、さざんかポニーズ、習志野台ワンパクス、薬台台リトルスター、ツインドルフィンス、三山スワローズが残った。

六月三日に準決勝が行われ、習志野台ワンパクスがさざんかポニーズを七対一で破り、三山スワローズがツインドルフィンスを五対一で破り、六月十日に決勝戦が行われた。

試合は接戦の上六対五で習志野台ワンパクスが勝利をおさめ、三年ぶり三回目の優勝を飾った。

10月以降の主な大会名

10月	第35回船橋市少年学童野球新人大会
	第37回船橋市少年学童野球秋季大会
	関東学童軟式野球秋季(新人)大会 (日本ハム旗争奪)
	東武鉄道杯少年野球大会
	千葉県少年野球選手権大会 (ロッテ旗争奪)
	5市親善少年野球大会
	千葉県少年野球選手権大会 (中央ろうきん旗争奪)
11月	友遊ボール大会
	東葛親善少年野球秋季大会
	支部対抗戦
	女子オールスター 地域対抗6年生選抜大会

少年少女交歓会



第四五回となる平成二四年度の少年少女交歓大会は五月十三日に船橋運動公園で行われた。

この交歓会に合わせて開催してきた野球教室が、昨年は諸般の事情で中止となったが、今年度は、公益社団法人全国野球振興会の主催により、新たに「少年少女野球教室」を船橋市民球場で開催した。

講師には、元巨人のエース城之内投手、船橋法典高校出身の元日ハム松浦投手等大勢の元プロ野球選手を迎え、バッテリー、内野、外野、打撃の四部門に分かれ、個別に、具



体的に注意を受けるなどし、「野球は基本が大事、練習も基本をしっかりとやること」と熱心な指導を受けた。最後に記念撮影し野球教室を終了した。



第三五回東葛親善少年野球大会(春季)



第三五回東葛親善少年野球大会(春季)は九市十チームが参加し流山市で行われた。船橋代表の藤上ディアーズは、準決勝でジュニアサンデーズ(浦安)に二対七で敗れたが第三位に入賞した。優勝は浦安のジュニアサンデーズであった。



第3位表彰を受けた藤上ディアーズ

第三七回船橋市学童野球選手権大会 夏季大会

二年連続四回目の優勝 習志野台ワンパックス

習志野台ワンパックス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
夏見台アタックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第二七回船橋市少年学童野球選手権大会(夏季大会)は七月一日に三六チームが参加、高郷スターズ前田衣里奈主将の力強い選手宣誓が響く高瀬グラウンドで開催された。

試合は、猛暑の中順調に進み、習志野台ワンパックス、夏見台アタックス、ツインドルフィンズ、西習志野グリーンファイターの四チームが残った。

決勝戦は、八月二六日に船橋市民球場で、習志野台ワンパックスと夏見台アタックスの争いとなり、一対〇で習志野台ワンパックスが勝ち、二年連続四回目の優勝を飾った。

試合は、両チームのエースの投げ合いとなった。決勝点は、四回の表ワン

パックスの攻撃、一死後、六番・主将六反君が右翼の左を抜く三塁打、続く七番・角田君の中前ヒットで取った一点、その一点を、北村君と大竹君の継投で、守った。

特に、アタックスの最終回は、先頭打者、三番・角田(大)君が三塁強襲ヒットで出塁し、エンドランで二塁へ、打席に、二回に左翼オーバーの三塁打を打った五番・孫田君、同点の期待がかかった打球は、惜しくも一塁ライナー、二塁に転送されダブルプレー、試合終了。

夏季大会にふさわしい清々しい大会であった。ワンパックス野田監督は、

勝因として、エースの北村君、大竹君がよく投げしてくれた。また、子供たちが、日頃、守りが七割走塁が二割、打撃が一割と教えてきたことを良く実行してくれたことをあげた。

六反主将も、みんな優勝を目指して練習して

きたので本当に嬉しいと笑顔で答えてくれた。

一方、アタックスの中井監督は、ここまで、子供たちは一生懸命やってくれた。残念ながらミスの差が結果となったと話してくれた。

なお、習志野台ワンパックス、夏見台アタックス、ツインドルフィンズ、西習志野グリーンファイターの四チームは十月に行われた少年野球千葉県選手



権大会(ろつぎん旗)に出場する。

第三二回全日本学童軟式野球大会 千葉県大会

五月二七日開催された第三二回全日本学童軟式野球大会千葉県大会に参加した、船橋代表高郷スターズは、一回戦にて、ニューラッキーズ(葛南)に二対七で敗れ、残念ながら初戦で姿を消すこととなった。

決勝戦は六月十日に行われ、誉田ベアーズ(千葉)が野栄スポーツ少年団をサドンの末、四対三で破り、優勝を飾った。

誉田ベアーズは東京で開催された本大会において第三位に入賞した。



第三五回関東学童軟式野球大会 千葉県大会

七月八日から、開催された第三五回関東学童軟式野球千葉県大会(一六チーム)に、参加した船橋代表習志野台ワンパックスは、準々決勝で成田ブラックエンジェルズ(北総)にサドンの末、三対四で惜しくも敗れたが、見事ベスト八に入った。

決勝戦は、七月二二日に行われ、磯部シャークス(千葉)が成田ブラックエンジェルズ(北総)に六対〇で勝利し優勝を飾った。

なお、磯部シャークスは八月に行われた本大会において、見事三連覇を達成した。

第四二回千葉県少年野球大会 (千葉県報杯争奪戦)

第四二回千葉県少年野球大会(千葉県報杯争奪戦)は八月四日より、県内各地域代表六四チームが参加し、延べ一九球場で開催された。四チームが船橋を代表して参加したが、藤上ディアーズ、ツインドルフィン、高郷スターズは初戦、西船ウイングスは二回戦でそれぞれ敗れ、決勝戦には残念ながら進むことができなかった。

決勝戦は雨天のため一週遅れの九日、浦安高洲球場で行われた。

両チーム投手の好投で無得点のままサドンデスに入るといふ緊迫したゲームでしたが、優勝は一点を取って逃げ切った須賀スポーツ少年団(東総)、

準優勝は豊海マリナーズ(九十九)でした。三位には野栄スポーツ少年団(東総)と北東タイガース(八千代)が入った。



NPB CUP 第六回関東女子交流大会

第6回NPBCUP女子交流選抜学童軟式野球大会は(社)日本野球機構、(株)ベースボール・マガジン社、関東軟式野球連盟の主催により、九月一日に埼玉県大宮公園球場、さいたま市営大宮球場で、茨城県、山梨県、

栃木県、群馬県、神奈川県、千葉県、埼玉県、東京都の一都七県の選抜チームが参加し行われた。千葉県代表オール船橋レディスは初戦、神奈川県選抜横浜DのNAベイスターズガールズに十対六で勝ち、二回戦も埼玉県



準優勝したオール船橋レディース

選抜 JOSH ONE に十二対七で勝った。決勝戦は九月一七日に西武ドームで山梨県の山梨選抜と対戦、惜しくも二対九で敗れたが初出場で準優勝を飾った。

第六回関東女子交流大会所感

県野球協会から出場した千葉県野球少年野球連盟の推薦を受け、この度「オール船橋レディース」が標記大会に出場することとなった。第五回、第六回と八千代選抜が出場しており、なぜ八千代ばかりを推薦するのかと思っていたが、「長年の苦労が報われたな」「嬉しかった。また、学童部からは

大会日程考慮、常任理事会で遠征費用のカンパを呼び掛け、選抜ユニホームの貸与、大会への役員派遣等全面協力をいただいた。そして大沢会長、各チーム代表、監督等の皆さまから「頑張ってください！」と激励の言葉を貰った。その結果「準優勝」の荣誉に輝いたのである。

いまや少子化、過疎化、サッカーブームによって少年野球界は大ピンチである。県の「要覧」によると登録選手数が昨年度より千五百名も激減している。あとは女子選手の手勧誘しか道はない。さて、それはさておき、この大会の参加賞「洗濯石鹸」は何を意味するのだろうか。

オール船橋レディース
責任者 荒井 義一

オール船橋レディースメンバー

監督	池内 正明	薬師台リトルスター	
ヘッドコーチ	鮎谷 純忠	田高野井ターキーズ	
コーチ	栗塚 俊一	ツインドルフィンズ	
番号	学年	選手	チーム
1	6年	前田 依里奈	高郷スターズ
2	6年	横山 夕	スリーアローズ
3	6年	橋本 和音	ツインドルフィンズ
4	6年	小泉 里彩	塚田クラブ
5	6年	長谷川 宙美	小室ライオンズ
6	6年	西村 優希	緑台イーグルワーズ
7	6年	堀口 佳夏	習志野サンデーズ
8	6年	崎山 風夏	ホワイトビーストロンク
9	6年	三上 実穂	大穴ペガサス
10	6年	西岡 英里	さざんかポニーズ
11	5年	安川 しおり	坪井バンテツ
12	5年	荻原 百愛	西船ウイングス
13	5年	高橋 玲奈	二和タイガース
14	5年	関口 萌	二和タイガース
15	5年	池原 愛莉	前原サンライズ
16	5年	池原 千智	前原サンライズ
17	5年	栗林 風羽	前原サンライズ

チームだより

初出場 藤上ティアイーズ

代表 塚本権雄

平成二二年八月にチーム合併してから丸二年が経過しました。合併当初は若干のわだかまりもありませんでしたがチーム一丸となつて、ある目的に向

て選手、監督、コーチ、家族等のみなみならぬ努力がありました。県大会開会式六四チームの行進は壮観でした。一回戦で敗退しましたが子供達には素晴らしい経験になつたと思います。

かつて日々精進を重ねて来ましたが、現Aチームは昨年春の大会(Bチームの時)に準優勝をしており順調に成果を上げておりました。今年の春の大会に優勝チームと準々決勝でぶつかり惜しくも敗れました。

現在、我がチームの選手は七七名、コーチスタッフは五〇名を有しています。初出場を果たしたわけですから、今後は複数回の出場を重ねて県大会で結果を出すように、チーム全体で頑張ります。大会の出場に関しご協力をいただいた方々に感謝致します。

実はある目標とは県大会に出場することだったのです。準々決勝で敗退したものの幸運がめぐって来ました。他チームの事情により県大会の出場権を得ることができたのです。旧藤上、牡鹿台ティアイーズもチーム結成三五年以上でしたが県大会には一度も出場したことが無かつたのです。合併後の二年間は目標に向かっ

